

市民参加型の雨庭づくりの提案

九州産業大学 学生会員 ○坂木 碧 九州産業大学 正会員 山下三平
(株)立花建設 非会員 田中淑恵

1. はじめに

近年、世界中で豪雨災害が多発している。とくに都市ではヒートアイランド現象が激化し、都市型水害の危険性も高まっている。それらへの対策として、「雨庭」の国内での普及が重要と考えられる。雨庭は降雨を一時的に貯留し、ゆっくり土壌へと浸透させる機能を持ち、雨水が河川や排水路に一気に流れ込むことを緩和する効果があるからである。海外では導入が進んでいるが、国内での導入は少ない。国内での雨庭づくりが急務と考えられる。さらに、新築ではない一般家庭の庭を雨庭として改修する事例は極めて少ない。学校や公共施設だけではなく、住宅での雨庭の事例を増やす必要がある。

本研究は、福岡県糟屋郡新宮町に事務所を構える株式会社立花建設会社の敷地を対象とし、豪雨災害を緩和するまちづくりを目指す。そのために雨庭の一般家庭での導入を促すべく、地域の多くの人々に参加してもらえよう雨庭づくりの提案をすることを目的とする。

2. 対象施設

対象施設は株式会社立花建設である。国道3号線に面している。敷地面積は1319.08㎡である。事務所にはゲストルームが併設されている。このスペースは地域の人々に開放されており、交流の場に成りつつある。立花建設は、自社事務所に雨庭をつくることで、一般家庭でも広く雨庭が導入されることを推進したいと考えている。

立花建設敷地内の北側にある2つの花壇が雨庭計画地である。事務所に隣接する花壇①の面積は26.4㎡、植栽はコニファーとシマトネリコである(図-1)。国道3号線に面した花壇②は面積が12㎡、植栽はコニファーである(図-1)。

3. 町民へのアンケート

一般への普及を目指し、そのために市民参加型の雨庭づくりをすることを企図して、町民を対象としたアンケートを実施した。期間は2018年11月29日(木)～12月11日(火)である。対象はゲストルーム



図-1 雨庭予定地の花壇

表-1 アンケート概要

Q1-1	ゲストルームの利用について	選択式
Q1-2		
Q1-3		
Q2-1	住まいの地域	記述式
Q2-2	新宮町の特徴・魅力	選択式
Q2-3		
Q3-1	住まいの形態	選択式
Q3-2	現在の庭の活用	
Q3-3	庭について	記述式
Q3-4		
Q4-1	水の利用について	選択式
Q4-2		記述式
Q4-3		選択式
Q5-1	雨庭に求めるもの	選択式
Q5-2	新宮町に適した雨庭とは	
Q6-1	その他意見	記述式

利用者と立花建設の関係者であり、調査人数は41名であった。

内容は立花建設との関わりや新宮町のイメージ、家庭の庭と水利用について、そして立花建設の雨庭づくりについて尋ねるものである。合計16項目あり、選択式と記述式の両方を含む(表-1)。

4. アンケート結果

(1) 属性

アンケートの回答から得られた対象者41名の属性を図-2に示す。性別は女性が51%、男性が39%となった。年代は20代～50代が多くを占めている。住まいについては新宮町が合計で19名であり、福岡県東区13名であった。

(2) 雨庭づくりについて

次に、「立花建設の雨庭に求めるもの」との質問では、「手入れが簡単なもの」という回答が最も多い。また、「雨水利用が出来るもの」が13件となり、浸透機能だけでなく雨水利用することの需要も比較的多い(図-3)。

「新宮町に適した雨庭とは」の質問では、「山・まち・海・島の新宮全体を表すもの」が16件と最も多く、続いて「立花山などの山々を表す」である(図-4)。立花山の特性を反映した雨庭が望まれているようだ。

(3) 属性と雨庭に対する意思

雨庭に対する意思を男女で比較すると、「立花建設の雨庭に求めるもの」の質問では、「費用が良心的なもの」を選択したのは女性のみである。女性は費用面を気にする傾向が特徴的である(図-5)。

(4) ゲストルームの利用について

雨庭づくりを通して、立花建設が地域の交流の場になるために現状の把握が必要である。

そこで、ゲストルームの利用についての回答を属性を基に比較する。年代別にゲストルームの利用がある回答者を比較すると、40代と50代は各5名であるが、60代と70代は各1名である(図-6)。現時点では60代以上の利用者少ない。交流の幅を広げるためには、若い世代だけでなく、年配の方にも参加してもらえるようなイベントが必要と考えられる。

5. さいごに

本研究では雨庭の一般への普及を目指し、そのために市民参加型の雨庭づくりをすることを企図して、町民を対象としたアンケートを実施した。その主な成果は以下のとおりである。

- 1) 家庭の庭における手入れを考慮して、立花建設の雨庭は管理が簡単なものとする必要がある。
- 2) 立花山の特性を活かした雨庭の提案(例えば植

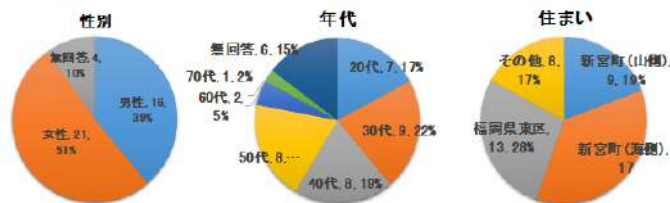


図-2 対象者の属性

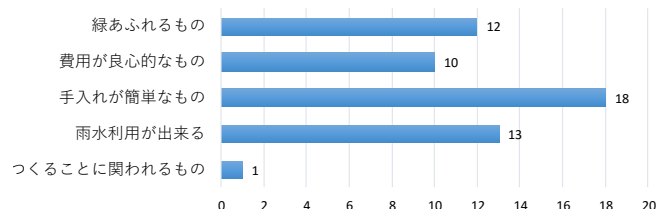


図-3 「立花建設の雨庭に求めるもの」での結果

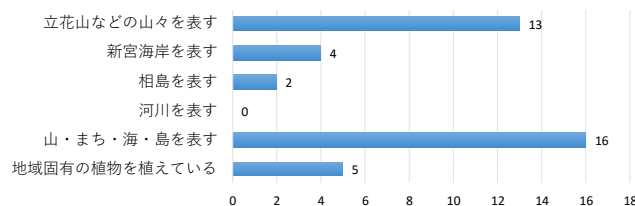


図-4 「新宮町に適した雨庭とは」での結果

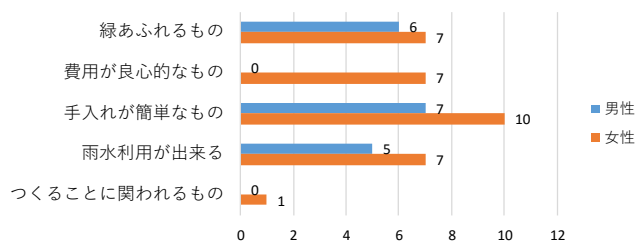


図-5 「立花建設の雨庭に求めるもの」での結果の男女比較

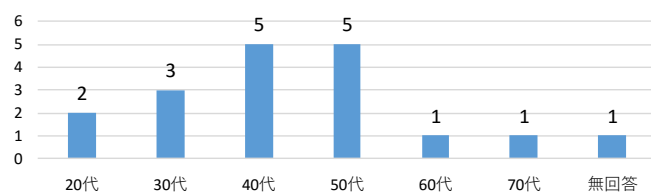


図-6 ゲストルーム利用がある回答者の年代

生について)が重要である。

- 3) 若い世代だけでなく、高齢者も参加できる雨庭ワークショップ等が望まれる。

今後は、上記の諸点を実際に取り入れたより具体的な雨庭デザインと地域住民とともに考えるワークショップの実施が課題である。

謝辞: アンケートにご回答下さった立花建設のゲストルーム利用者と立花建設の関係者の方々に感謝の意を表し、心から御礼申し上げます。

参考文献

- 1) 株式会社立花建設ホームページ:

<http://www.tachiken.net/index.html>